

建設技術展等の開催報告

～ふれあい土木展2015～
「観て」「触れて」「体験」した2日間

国土交通省 近畿地方整備局 近畿技術事務所 事業対策官 ふくもと まさひろ
福本 雅宏

近畿地方整備局近畿技術事務所では、幅広い方々に土木技術への理解を深めていただくとともに、安全・安心な暮らしをささえる「人と技術」の魅力を発信する「ふれあい土木展2015」を2015年11月13日、14日の2日間にわたり開催しました。

今年は近畿技術事務所での会場に加え、これまで以上に多くの皆様に知っていただくため、淀川河川事務所のご協力により、スポット会場として淀川河川公園枚方地区においても開催しました。

高度成長期以降、大量に整備された社会インフラが高齢化する時代を迎え、これらを効率的に維持管理していくための新たな技術開発など、安全・安心をささえていく土木技術の社会的役割は、将来にわたってますます重要となっていきます。このため、土木技術に関わっている関係者が、その魅力をアピールしていく社会的使命を果たす立場にあるといえます。

このことから、近畿技術事務所では土木技術に関わる産学官の関係者が連携、協働して、スポット会場での出展を含めて53の出展と3つのイベントを実施しましたので、いくつかを紹介します(表-1)。

表-1 出展参加・後援団体一覧

区分	団体等名	
主催	国土交通省 近畿地方整備局 近畿技術事務所	
参加	国土交通省 近畿地方整備局 企画部, 河川部, 道路部 淀川河川事務所 大和川河川事務所 淀川ダム統合管理事務所 六甲砂防事務所 大阪国道事務所 浪速国道事務所	
	国土交通省 国土地理院 近畿地方測量部	
	気象庁 大阪管区气象台	
	陸上自衛隊 第三師団	
	枚方市	
	枚方寝屋川消防組合	
	西日本高速道路株式会社 関西支社	
	公益社団法人 日本測量協会 関西支部	
	一般社団法人 日本建設業連合会 関西支部	
	一般社団法人 建設コンサルタンツ協会 近畿支部	
	一般社団法人 大阪府測量設計業協会	
	一般社団法人 日本建設機械施工協会 関西支部	
	後援	公益社団法人 土木学会 関西支部
		一般社団法人 近畿建設協会

1. 建設機械、災害原理の施設や災害対応支援資材などを展示

普段、間近で観たり、触ったり、乗ったりする機会がほとんどない建設機械ですが、バックホウやブルドーザ、今回初めて展示された2本腕のロ



写真一 「きんき号」機内見学



写真一四 車いす体験



写真一 二 地震車による地震体験



写真一 五 災害救助車両の見学



写真一 三 高速道路の体験コーナー



写真一 六 レーザー距離計の体験

ボット建設機械の運転席の体験など、子どもたちの楽しそうな笑顔がありました。他にも機械に乗れるカニクレーンや浸水被害で活躍する排水ポンプ車などの災害対策機械の展示・実演も行いました。

また、近畿地方整備局の災害対策ヘリコプター「きんき号」の轟音とともに着陸する姿は迫力満点で、着陸後は機内の見学も実施しました。

さらに、今回新たに、24時間休みなく働いている高速道路のヒミツの紹介、阪神・淡路大震災クラスの地震を体験できる地震車や災害時の被災者の入浴支援を足湯で体験できる展示も登場し、大勢の来場者に体験していただくことができました。

2. 小学生見学ツアー

地域の4小学校から約400人の子どもたちが13日（金）に授業の一環として見学ツアーに参加していただき、地震・津波の原理の模型、土石流模型の見学やレンガブロックでつくるアーチ橋の組立を体験していただきました。



写真一七 地域の小学生が記念撮影



写真一八 土石流模型の見学



写真一九 排水ポンプ車の実演



写真一〇 レンガブロックアーチ橋の組立体験



写真一一 ダム統合管理指令室の見学

隣接する淀川ダム統合管理事務所では、ダム統合管理指令室を開放して、淀川水系内のダムや堰のコントロールについて学んでいただきました。

3. 魅せる!現場 ～現場を支える人々～

学生など一般来場の方々に、土木工事現場の魅



写真一二 現場を支える人々

力を紹介する催しを開催しました。直轄工事現場の担当者4人の方から、工事の技術的内容から現場のやりがいなどの発表やディスカッションを通して工事現場の魅力を発信することができました。

4. 暮らしに役立つ気象情報 ～災害から身を守る～

日本気象協会から久保智子さん（奈良テレビ放送「ゆうドキッ！」気象キャスター）をお招きして、講演をしていただきました。講演では、昨今の異常気象や地球温暖化、局地的大雨による災害例など、クイズも交えながら、わかりやすい話をしていただきました。



写真一三 久保智子さんの気象に関する講演

5. 研究室対抗 関西土木リーグ

これからの土木を担う関西9大学、13の土木系研究室の学生がパネルや模型を用いて様々な技術研究とその魅力を紹介し、競い合いました。

近畿技術事務所の職員による審査、来場者の投票により、優秀賞、奨励賞、特別賞をそれぞれ2題ずつ、計6題が表彰されました。



写真一四 大学生による研究説明

表一 2 研究室対抗 関西土木リーグ 受賞研究室

大学	学部等	研究室	研究タイトル	受賞
大阪工業大学	工学部	構造力学研究室	暮らしを支える橋、その安全・安心を確保するには！	優秀賞
大阪市立大学	工学研究科都市系専攻	応用構造工学研究室	鋼鉄道橋の腐食したカバープレートの取替がその力学的挙動に及ぼす影響に関する基礎的研究	優秀賞
関西大学	社会安全学部	地盤災害研究室	道路斜面の健全性評価および危険個所の抽出に関する研究	奨励賞
関西大学	環境都市工学部	鋼構造デザイン研究室	Uリブ鋼床版の疲労き裂に対する補修方法の検討	奨励賞
京都大学	工学部	構造力学研究室	洋上ソーラーアップドラフトタワーの構造実現性	特別賞
大阪大学	大学院工学研究科	豪雨による斜面災害の予知・観測・対策研究チーム	斜面に含まれる水分を予測するためのハイブリッド解析システムの開発	特別賞

6. スポット開催 (淀川河川公園枚方地区)

新たな取り組みとして実施した、淀川河川公園でのスポット開催では、洪水時の水中歩行体験や身の回りのもので身を守る技術「簡易水防工法」など、淀川資料館を含む7つの展示をしました。また、近畿技術事務所会場での様子を大型標識車に映像配信したことで、公園会場を訪れた来場者の中には、近畿技術事務所の会場に足を運ばれる方もいました。



写真—15 大型標識車による映像配信



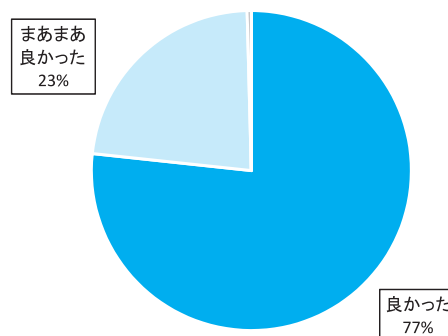
写真—16 水没ドア・水中歩行体験

7. おわりに

近畿技術事務所会場、淀川河川公園会場、合わせて2日間で約1,400人の来場者にお越しいただきました。2日目の土曜日は天候に恵まれない中、それでも多くの皆様にご来場いただけたことは、主催者として大変うれしく思います。

来場者アンケートでは、「来年も来たいです。子どもも喜んでいました」「どれも参加できるものはおもしろくて、小さい子どもも一緒に楽しみました」等の意見をいただくなど、「良かった」「まあ良かった」の回答が100%でした。

「ふれあい土木展2015」に参加していかがでしたか



図—1 来場者アンケート

この「ふれあい土木展」を通じて、安全・安心なくらしをささえる「人と技術」の魅力を感じてもらい、また土木の大切さを知っていただき、将来、土木技術者としての道を志してもらえることを期待します。

最後になりましたが、「ふれあい土木展2015」の開催にあたり、参加、出展、後援をいただきました皆様に厚く御礼申し上げます。